

平成25年度今金町地域・人づくりフォーラムが開催されました

３月４日、今金町民センターにおいて「地域・人づくりフォーラム」が開催されました。今回のテーマは「食育」。町内での食育の取り組みについて、官民４つの団体から実践報告が行われました。

①料理を楽しむ会「こぶしの会」代表の森昇氏からは、男の料理教室から発展した活動が健康づくりと生涯学習につながっていること、②保健福祉課山口恵莉栄養士からは「減塩」プロジェクトの背景と意義について、③学校給食センター濱田まどか栄養士からは「今金中学校を卒業したらお弁当を作れるぞ！」の取り組みについて、④今金食材サプライチーム村瀬広前チーフからは、学校給食における地産地消の取り組みが徐々に進展している状況が紹介されました。その後、会場参加者との活発な意見交換が行われました。

健康づくり講演会～町民と行政でつくる健康なまち～が開催されました

３月７日、町民センターで「健康づくり講演会」が開催されました。講師は函館市出身で、現在、東洋大学ライフデザイン学部教授の斉藤恭平氏です。先生は、順天堂大学、函館短期大学で講師・教授を歴任された方で、今金町においては、「寺子屋やまと（旧名）」「語り部南栄広場」「おたがいさま種川」などきっかけづくりに携わり支援いただいた馴染みの深い先生です。

斉藤先生には町民とどのように健康なまちづくりを推進するのか、様々な事例を紹介しながら講話していただきました。先生は現在策定中の「健康増進計画」のアドバイザーでもあり、町民と行政の協働による“健康づくり”の取り組み方や評価方法などきめ細やかにご助言をいただきながら計画化しております。計画には、町内23の事業所・団体が策定委員として関わっており、講演参加者も大変熱心に話を聴き入りました。







今金高等養護学校卒業生・役場訪問及び第17回今金高等養護学校卒業式

３月５日、役場応接室にて、北海道今金高等養護学校卒業生代表７名が外崎町長に今金町で過ごした日々に対してのお礼の訪問をうけました。

卒業生から３年間の学生生活の成果として、産業科から「花瓶」農業科から「花」生活家庭科から「液体せっけん」と「レターセット」などが町長に手渡されました。外崎町長からは「進学や就職でこの今金を離れても、お体を大切にがんばってください」とお礼のことばが述べられました。

３月７日には今金高等養護学校卒業式が行われました。本年度の卒業生は23名で、多くの生徒は進学や就職のため今金を巣立ちます。

卒業生のみなさまにおかれましては、これからも健康に留意され、ご活躍が期待されます。



栗城史多ふるさと講演会（講演テーマ『あきらめない』）が開催されました

３月16日、今金町とせたな町の有志主催の『栗城史多ふるさと講演会』が今金町民センターで開催され、約400名の来場者で会場が埋め尽くされました。世界最高峰エベレストに挑戦し続ける登山家・栗城氏の講演会のテーマは、夢を『あきらめない』。

地元今金に帰ってきた栗城氏は、講演会のなかで「現在治療中の９本の指が自分を助けてくれた。回復した暁には、エベレストに再挑戦したい」と豊富を述べていました。また、夢や希望をかなえるために、父敏雄さんの「おまえを信じている」と背中を押してくれたエピソードに触れ、「あの言葉があったから、いまの自分がいる」と協力してくれる人への感謝の心も伝えられました。

参加者一人一人の心には、『あきらめない』大切さが伝わり、大きな拍手で講演は幕を閉じました。

まちかど フォトライブラリー





















※上記の記事はホームページ・ＴＯＰＩＣＳにも掲載されております
http://www.town.imakane.lg.jp/modules/pico1/index.php/content0379.html